

## 第7回テーマ : グループと



## 神戸外国人居留地文化

## 講演内容

- ①神戸外国人居留地  
文化の成立
- ②居留地にやってきた  
イギリス人たち
- ③グループの活動

神戸外国人  
居留地跡の碑
くわた まさる  
講師：桑田 優さん

## プロフィール

昭和20年神戸市生まれ  
昭和60年八代学院大学（現：  
神戸国際大学）経済学部教授、  
現在に至る。平成5年、オックス  
フォード大学日産日本問題  
研究所研究員、平成9年同研究  
所客員所員、平成13年ケンブ  
リッジ大学東洋学部客員研究員

実施日：平成15年10月18日（土）午後2時～5時  
場 所：六甲山自然保護センター内 レクチャールーム

## 今年最後のセンターでのセミナー

この日は素晴らしい秋晴れで、自然保護センターの入口前にはコスモスやススキが揺れており、たくさんの方が訪れていました。センターでの市民セミナーは今回が今年最後となりました。（来月からは六甲山YMCAにて開催します）参加者32名が揃い、神戸市立成徳小学校の先生や生徒さん、婦人大学卒業生「あけび」の会の皆さん他、多彩なリスナーが集まり充実したセミナーを開催することができました。



成徳小学校の生徒さんも参加

## 居留地というものがあった

今回は神戸のイメージの一つにある外国人居留地に注目しました。居留地成立の歴史や建設、また居留地に関わる外国人達、その中の1人、六甲山開祖、アーサー・ヘスケス・グループの活動についてご紹介いただきました。六甲山の開発は居留地文化が源流にあり、六甲山開発の背景や文化を知ることができました。

## グループの出生・死亡届を見た

本邦初公開！グループの出生届、死亡届を拝見することができました。桑田さんは、神戸国際大学経済学部の教授であり、他面では駐日英国外交官について研究されていて、神戸外国人居留地研究会の事務局長をされています。資料入手のため毎年イギリスへ出かけるそうです。この度、神戸外国人居留地をはじめ、イギリス人であるグループに関するたくさんの貴重な資料を集めていただき、スライドにて紹介していただきました。桑田先生の資料収集力ならびに追求する熱心さにとても感動しました。講演へのご配慮に感謝いたします。



旧居留地38番館

## 懇談会にもぎわった

質疑応答の後、お茶を飲みながら和やかな雰囲気懇談会へと進みました。成徳小学校の4年生担当である福谷先生より総合的な学習に対する方針をご紹介いただき、皆で聞き入りました。懇談会は参加者同士へと活発になり意見が交わされました。

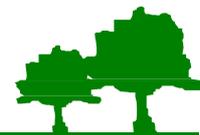
主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局

兵庫県立人と自然の博物館



# テーマ: グループと神戸外国人居留地文化



## 第7回市民セミナーの流れ

### 市民セミナー

1. あいさつ: 13:15~13:20
2. 講演: 13:20~14:30
3. 質疑応答: 14:30~15:20
4. 懇談会: 15:40~16:10

### 講演

- (1) 神戸外国人居留地の成立
- (2) 居留地の建設
- (3) 居留地にやってきたイギリス人たち
- (4) A. H. グループの活動

※講演用に作成されたパワーポイントで多くの写真や資料を紹介していただきました。

## 講演のあいさつ(桑田 優さん)



桑田 優さん

私は、江戸時代の古文書を読むのが専門ですが、海外に留学するためのネタとして、外交官居留地の研究をしています。今日は外国人が日本にやって来た110年位前の話をしたいと思います。

## 講演内容

### 幕末の開国

嘉永6年6月3日(1853年7月8日)アメリカのペリーが来航。翌年3月3日に幕府は日米和親条約を結ぶ。

安政5年正月12日下田の領事ハリスとの交渉により日米修好通商条約を結ぶ。長崎、神奈川、兵庫、新潟の四港の開港と江戸・大阪の二市の開市が決定した。

### 神戸外国人居留地

(数字は居留地の区画番号)



原図はジャパン・クロニクル紙ジュビリーナンバー「神戸外国人居留地」(堀博・小出石史郎訳、土居晴夫解説より神木哲男・崎山昌廣『神戸3/4世紀』(1993年 神戸新聞総合出版センター))

## 5年遅れて兵庫開港

日米修好通商条約の交渉において最初は京都近辺の堺を開港場としていた。しかし堺の近辺には皇室の古墳や天皇家の古墳があり、そういった堺を開港場にすると外国人の遊歩区域内に古墳の場所が入ってしまう。これを恐れて幕府は堺をやめて兵庫に変更した。

堺の港は大和川からの土砂により浅瀬のため、大きな船が入れないということで、アメリカは兵庫への変更をすんなりと受け入れた。

1863年の1月1日の開港予定であったが、当時幕末攘夷活動が盛んで、京都に近い兵庫の開港を予定通り行くと非常に危険であるということで、幕府は使節をイギリスに派遣し、5年間の延期を求めた。この文久2年5月9日(1862年6月6日)ロンドン覚書により、慶応3年12月7日(1868年1月1日)に兵庫開港となった。

## 神戸村に神戸外国人居留地の成立

慶応3年4月13日、「兵庫・大阪規定書」として外国行使団との間で兵庫の開港についての取り決めが行われた。その中で、貿易を行うためにやって来た外国人を居住させる場所として神戸村を居留地に定めた。

居留地の範囲(約26ヘクタールの広さ)

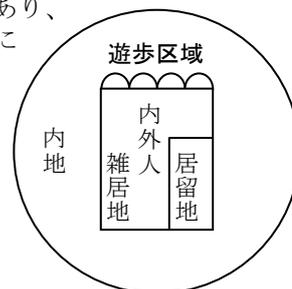
- 東: 旧生田川 (現在のフラワーロード・市役所東側)
- 西: 鯉川 (現在の鯉川筋・大丸西側)
- 北: 西国街道 (現在の丸大丸神戸店北側、三宮神社の間の道路)
- 南: 海岸線 (現在の国道2号線)

明治3年より競売が行われるが、価格はどんどん上昇。国別ではイギリスが圧倒的に多かった。

## 居留地以外に山手異人館などの雑居地

幕府によって建設が進むが、完成したのは運上所と番所だけでまだ人が住める状態ではなかった。そのため居留地以外のところに外国人が住む事を許した。これが雑居地であり、山麓の山手異人館もこれにあてはまる。

兵庫にやって来た中国人は条約の締結国ではないので居留地内には住めなかったため、中国人達は居留地の近くに「南京町」をつくり居住した。

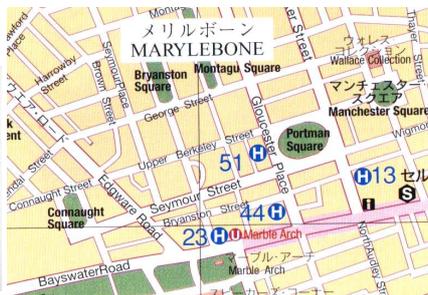


### A.H.グループの生い立ちと活動

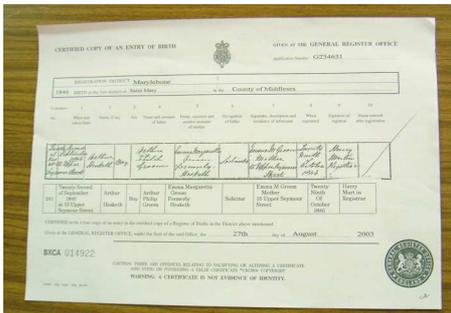
1846年ロンドン生まれ。父は弁護士。明治4年(1871)、グラバー商会を退社、神戸の善照寺の離れに下宿し、住職の媒酌で日本人宮崎直と結婚する。居留地の英101番に商館を建て、貿易商社を経営、日本茶を輸出しセイロン紅茶の輸入をはじめた。明治13年ごろから横浜へ進出し、生糸の輸出もしていたが、明治23年に神戸に帰り、居留地の播磨町34・35番に商社をかま茶の輸出を継続する。明治29年に80番館のオリエンタルホテルの取締役として、明治33年には社長となる。



A.H.グループ氏



出生地：メルリボーン



グループの出生届

桑田さんがイギリスのファミリーレポートセンターに行っ  
 て死亡届と共に入手されたものです。(初公開)

### 六甲山開発～明治末には63戸の別荘

グループ氏は、明治28年、六甲山の三国池近  
 辺の土地を借り、〈101番屋敷〉と名乗る平屋2  
 棟の別荘を建てた。明治34年六甲山上に4ホー  
 ルのゴルフ場を開設、明治36年、9ホールに増  
 設して日本最初のゴルフクラブの神戸ゴルフ倶楽  
 部を創設。六甲の山頂生活も宣伝した。明治43  
 年にはイギリス人28戸、日本人12戸、ドイツ  
 人、フランス人各9戸、アメリカ人4戸、ベルギ  
 ー人1戸、計63戸の別荘が建ち並び、彼は「六  
 甲市長グループ」と呼ばれるようになった。明治  
 45年、長年の功績に対し、「六甲開祖之碑」が  
 山頂に建てられた。

### 事実確認の質疑応答

居留地という言葉の意味や条件について踏み込んだ  
 質問がありました。また、グループの功績について質  
 問があり、米村さんから補足説明をいただきました。

### 桑田さんのまとめ

今回は、神戸外国人居留地文化がメインとなり、時  
 間切れで足りない部分もあったと思います。本当は写  
 真だけではなしに六甲山とグループの関係などをもう  
 少し話が出来れば良かったと思います。今後さらに研  
 究を進めたいと考えています。



セミナーの様子

※事務局としては、外国人居留地文化について初めて  
 知りました。多くの方に知ってもらいたいです。

### ◆参考・配布資料：

講演レジュメ配布

#### ～書籍紹介～

『近代における駐日英国外交官』

桑田 優 著

(敏馬書房 6000円)



連絡先：神戸外国人居留地研究会  
 神戸市東灘区向洋町中9-1-6  
 神戸国際大学桑田研究室  
 TEL&FAX：078-845-3315

### ◆アンケート：

\*居留地とグループと六甲山のつながりが分かつた。  
 \*居留地成立の由来が分かつた。神戸文化の  
 原点を見直した。\*居留地の跡をたどってみたい。  
 \*次回はグループの個人的なエピソードが聞きたい。

### ◆懇談会：

- ・神戸市立成徳小学校4年生担当の福谷先生より総合的な学習の方針の紹介
  - ・婦人大学卒業生「あけび」より六甲山の活動紹介
  - ・兵庫県生物学会白岩先生よりホームページの案内
- ※今回の講演記録を作成中です。ご希望の方にはお分けしますので事務局までお問合せください。

### ◆参加者：33名(順不同・敬称略)

桑田 優	米村 邦稔	白岩 卓巳	八木 浄
戸田 清彦	桑田 結	青木 孝子	澤田 俊哉
石田 澄子	霜田 泰功	植松富士子	光宗 智子
白石 郁子	山口 紀子	田中 弘子	藤本 武子
川口嬉預子	中務 勝子	福谷真知子	北山健一郎
藤田 一豊	藤田 昭子	山田 良雄	伊沢 信雄
伊藤 邦生	三代地 光	川植菜亜子	安喜 茜
大上 紗璃	堂馬 英二	藤井宏一郎	中野 一
菖蒲 美枝			